

## 2017年度活動報告

### 1. 取り組み全体のまとめ

- (1) 2017年度は、第6次中期計画の2年目として、公益社団法人として「消費者があらたな価値観を持ってらせる、福井らしい地域社会の実現へのお役立ち」の実現のため、公益性、信頼性は維持し、また、行政や地域の諸団体、市民グループ、福井県民生協とも連携しながら、「消費者市民社会の実現」「福井の地域にあった暮らし方提案」「くらしの情報の提供」の3つの役割を果たし、県民へのお役立ちの活動を広げました。
- (2) 今年度も、福井県消費生活センター事業である消費生活セミナーの受託を受けました。(今年で13年目)。消費者教育担い手養成講座「くらしの基本セミナー」は3年目となり、今年は倫理的消費(エシカル消費)を意識した組み立てを行いました。
- (3) 嶺南での男の料理教室「G・Gクッキング」を敦賀で開始しました。料理初心者のシニアの男性を対象にしたくらし事業参加のきっかけとなり、食の活動の幅を広げる機会にもなりました。
- (4) 鯖江市の食の安全安心講座、大野市の環境塾、児童クラブや公民館への出前講座依頼など、今年度は生協の食育の会と連携し、地域へのお役立ちも前進しました。
- (5) 生協のにじいろパーティー(婚活企画)とのコラボや婚活を目的にしない若者向けの料理教室「くらしなびキッチン」を開催し、活動の幅を広げました。

### ■2017年度の結果数値■

	企画数(回)			参加人数(人)				
	実績	前年実績	前年比	計画	実績	前年実績	計画比	前年比
■消費者セミナー	25	24	104.2%	1,005	1,086	1,265	108.1%	85.8%
(通信セミナー) * 修了者数	—	—	—	230	215	225	93.5%	95.6%
(消費生活セミナー)	12	10	120.0%	500	596	690	119.2%	86.4%
(担い手養成事業) * 延べ人数	10	10	100.0%	150	135	148	90.0%	91.2%
(上記以外の委託講座)	3	5	60.0%	125	140	202	112.0%	69.3%
■食育講座	20	19	105.3%	700	662	707	94.6%	93.6%
■出前講座	11	18	61.1%	800	422	807	52.8%	52.3%
■くらしなび農園	14	23	60.9%	—	137	212	—	64.6%
■男の料理・料理ライブ・GGクッキング	47	42	111.9%	—	261	248	—	105.2%
■ハートクッキング	2	2	100.0%	48	24	40	50.0%	60.0%
■会員数	—	—	—	287	278	283	96.9%	98.2%
(個人会員)	—	—	—	264	255	260	96.6%	98.1%
(団体会員)	—	—	—	23	23	23	100.0%	100.0%

### 2. 重点的な取り組みのまとめ

#### (1) 消費者市民社会の実現を目指して

福井県の委託事業は13年目となりました。今年度も入札での受託となりました。鯖江市の委託事業「食の安全安心講座」は5年目(今年が最終年)となり、地域への定着も進みました。

##### ①消費生活セミナー(福井県消費生活セミナー委託事業)

消費生活セミナーは、7月、8月に親子講座、10月、11月、1月にくらしの講座を、10企画12講座開催し、596人の参加がありました。

##### ○親子講座

- ・おやつについて考えよう!～表示の見方とおやつの量について～(20人)
- ・親子で楽しみながら学ぶおこづかいゲーム(81人)
- ・ぷくぷく膨らむ発酵の不思議!～ふっくらパンはなぜ膨らむの??～(66人)
- ・福井の森を知ろう!間伐材でプランターカバー作り(33人)

## ○くらしの講座

- ・ここまできたか冷凍食品！！プロから学ぶ冷凍食品テクニック（86人）
- ・旅行トラブルQ&A ～事前に知って楽しい旅を～（嶺南30人、嶺北55人）
- ・あなたはしっかり睡眠がとれていますか？～グッスリ睡眠と寝具の選び方～  
（嶺南10人、嶺北85人）
- ・今日から始める実家の片づけ ～親の持ち物とその思い～（嶺南25人、嶺北75人）
- ・楽しもう！エシカル消費～地域から世界まで幸せにする買い物～（30人）

## ②消費生活通信セミナー（福井県消費生活セミナー委託事業）

消費生活通信セミナーは、受講者数230人、修了者数215人となりました。生協の職員にも参加を呼びかけ、学習の場としても活用しました。

## ③消費者教育担い手育成講座（福井県消費生活セミナー委託事業）

次世代の消費者教育の担い手育成のための10回連続講座を開催しました。受講者は22人、修了者8人、うち6人が消費者団体に加入しました。今年度も消費者団体の代表者にそれぞれの団体の活動について説明をしていただき、受講生に消費者団体活動について興味をもっていただく機会をつくりました。今年度はエシカル消費をテーマに講座に取り組みました。

全体テーマ わたしの選択とこれからのくらし「くらしの基本セミナー」

- 第1回「開講式・エシカル消費」、第2回「食と健康」、第3回「食品ロス」、
- 第4回「製品の安全」、第5回「ライフプラン」、第6回「モノと心の整理術」、
- 第7回「サイバートラブル」、第8回「契約トラブル」、第9回「持続可能な社会」、
- 第10回「まとめ・消費者市民社会に向けて」

報告団体 福井市くらしの会、敦賀市消費者連絡協議会、勝山市消費者団体連絡協議会  
坂井市消費者団体連絡協議会、ふくい・くらしの研究所、福井県消費生活研究会  
鯖江市くらしをよくする会、越前市消費者グループ連絡協議会（8団体）

## ④鯖江市食の安全安心講座（鯖江市委託事業）

鯖江市の食の安全安心講座は5年目となり、親子講座2回と座学講座1回を実施しました。  
（座学講座の第2回は大雪のため中止となりました。）

親子講座（2回） ぷるぷる固まるゼリーのひみつ！（60人）

座学講座1 なぜだまされる！？ニセ科学と食の安全（80人）

## ⑤出前講座

自治体や公民館、児童クラブなどからの要請を受けて、出前講座を実施しました。（11回、422人）。今年度は生協の食育の会からの講師派遣も行いました。糖分テストのほか、環境やリサイクルの講座の対応も行いました。

## ⑥食育講座

生協の子育て支援センター「ハーツきっず」で実施している「食育講座」は、20回行い、のべ662名の親子が食生活についての基本を学びました。

## （2）福井の地域にあったくらし方提案

### ①通年型食育体験サロン「くらなび農園」

2008年度に鯖江市で開始して今回で10年目を迎えたくらなび農園では、10組(大人16人、子ども12人 計28人)が登録し、田畑の耕しから種苗の植え付け、草取り、収穫など通年での農業体験を14回(5月～1月)実施しました。また、農園の収穫物を使ったしめ縄づくり、ぜんざい会、餅つきなど地元の協力者とともに収穫の喜びを味わうことができました。

研究所としての農園へのかかわりは最終年度となりましたが、自立した地域の活動として農園活動は鯖江市民によって継続されることとなりました。

### ②男の料理教室

セカンドライフ世代の男性の食の自立のための料理教室を開催しました。男性の活動参加の場として福井地域での定着が進んでいます。今年度は、敦賀地域の料理初心者の男性を対象にした「G・Gクッキング」を開始しました。G・Gクッキングは生協の第3地区本部の組合員活動と

連携し、活動の定着をはかりました。

### ③ハートクッキング、くらなびキッチン

ハートクッキングは、20代から30代の若者を対象にしたコミュニケーションと出会い、食への関心を高める場づくりを目的に6月に実施し、18人の参加がありました。県の婚活サイトに掲載して募集を行い、生協のにじいろパーティー（婚活企画）との連携を行いました。

また、ハートクッキング参加者を対象にした料理教室を、くらなびキッチンとして12月に開催しました。

婚活を通じた料理教室は、20～30代のコミュニケーションのきっかけとして中期計画にも掲げてすすめてきましたが、生協で同様の企画を行っていることから、くらなびの企画としては2017年度で終了とします。

- ・ハートクッキング 出会は料理で！初夏を彩るときめきランチ（18人参加）
- ・くらなびキッチン 初心者集まれ！くらなびキッチン（6人参加）

### ④総会記念企画

公益法人設立20周年記念企画として、福井県立福井商業高等学校五十嵐裕子先生を講師に、「普通の子が『世界』に羽ばたくJETS物語～こどもの可能性～」講演会を開催しました。一般県民をはじめ関係団体役員、生協組合員や行政など220人の方に参加いただきました。

## (3) 情報ネットワーク

### ①消費者のくらし向き調査

2003年度から始めたくらし向き調査では福井県民の消費者マインドの傾向を発表し、報道機関を通して広く県民に情報発信することができました。2017年秋の調査では、今後半年間のくらし向きマインドが過去最高値となるなど、消費者マインドの改善が話題を呼びました。

### ②くらしにまつわる受託調査

1団体から1件の調査入力・分析依頼があり対応しました。

調査名	主体(委託)
ハラスメントに関するアンケート調査	社会福祉法人 足羽福祉会

### ③情報誌・ホームページ

情報誌くらなびは年2回発行しました。ホームページは、facebookの更新を使ったタイムリーな更新を一層すすめました。

## (4) 財政・組織体制

### ①財政

事業収入は福井県の委託講座が大半を占めますが、前年度の委託事業のひとつが福井県本体での実施に変更になったことや、受託調査が減少したことなどにより、事業収入は予算を下回りました。一方で広報の方法の改善などで特に消耗品費や広報費、印刷製本費などの支出を抑えた結果、収入が支出を上回りました。正味財産増加分は事業安定積立金に積みたてます。

### ②組織体制

理事会メンバーのそれぞれの立場でくらなびの事業に参加、協力いただき、主体的な事業運営を行いました。また、外部事業や外部からの出前講座などの要請に応えられる事務局体制を維持できました。嶺南のくらなび理事や生協の組織スタッフの協力により、嶺南の活動を進めることができました。